

第3回 消費財サプライチェーンにおける商品情報授受
に関する共通コード運用等の検討会
議事要旨

日時：令和8年2月18日（水）15時00分～16時30分

場所：シグマクシス トレーニングセンター /オンライン会議（Zoom）

議題：

1. 開会
2. 議事
 - (1) ガイドライン作成状況の報告（株式会社シグマクシス）
 - (2) 意見交換
3. 閉会

議事概要：

- 株式会社シグマクシスより、資料5に基づき、本検討WGまでに実施した分科会での検討内容を踏まえ、ガイドラインの作成状況について説明。

【意見交換】

メーカーA社

- ・ これまで行われてきた製・配・販連携協議会には経済産業省が積極的に関わっていたが、来年度からの新協議会についてもそのような関与があると考えてよいか。
 - 【事務局回答】新協議会においても、経済産業省として積極的に関与する。予算等の詳細については現段階で申し上げられることはない。

メーカーB社

- ・ GTIN未満の識別方法として挙げられているCPVについて、『GS1グローバルで推奨されている』との記載があるが、海外の先行事例における効果や課題等の情報があることで、議論が進みやすくなると思う。
 - 【事務局回答】GTIN未満の識別の要否、及びその識別方法については次年度以降も継続して議論すべきものと考えている。それを踏まえ、次年度以降の検討事項として引き継がせていただく。
- ・ 別紙Cに挙げられているようなGTINの解釈や該当例については、本検討WGに参加していない事業者も含めて確認が必要な論点もあると思う。

- ▶ 【事務局回答】 現段階でガイドラインに記載している内容は、今後の議論で変更となる可能性があるものと理解しており、その旨も文中に記載している。次年度以降も継続して製・配・販の事業者が確認・議論を行い、運用ルールはアップデートされていくべきものと考えている。

以上